



大渋滞の東水戸道路下り線の下を悠々と走る湊線(5/4)

おらが湊鉄道応援団報

第74号

勝田 阿字ヶ浦

来秋、245号高架橋下に新駅建設を発表



新駅建設が決まった国道245号の高架橋下

海浜鉄道は5月14日、那珂湊一中根駅間の国道245号線の高架橋下(田中後)に新駅建設を発表しました。開業は来年10月の予定です。新駅誕生は昭和37年の日工前駅以来52年ぶり。今年冬、湊線は開業100周年を迎えますが、一時は存続の危機に直面した湊線が海浜鉄道として再出発してから5年目の“快挙”です。

新駅設置の要望は柳が丘自治会などから上がっていました。新駅予定地は那珂湊駅から1キロほどです。柳が丘団地にも近く、周辺に住宅地や商業施設も増えてきたこと、(仮)ひたちなか警察署の大型駐在所が付近に建設されることなどを考慮して決定されました。

今後、新駅設置に向けて山積する課題を一つ一つクリアして皆様に愛される駅になることを願っています。

湊線延伸にも夢膨らむ

一方、年間100万人が訪れる国営ひたち海浜公園方面へ阿字ヶ浦駅から湊線の延伸ができないかと、5月7日に関係者が懇談会をおこない、「ひたちなか海浜鉄道湊線の延伸を実現する会」が設立されました。サブ名称は「シーサイドパークステーションを作る会」と決まり、代表に本間源基市長が選出されました。今後は、実現する会の組織づくりなどを行い、市が実施する延伸調査の中間報告(7月頃)を待って地元としての意見や要望を反映させたいとしています。

湊線延伸についてはコースや費用対効果は未知数ですが、存続の危機に瀕し、地震でも大きな被害を受けたローカル鉄道が一転して、延伸まで検討されるようになったのは極めて異例なことだと思います。湊線100周年に向けて地域と行政、鉄道が一体となった姿勢がまた一歩前進することを期待したいと思います。

開業5周年記念祭 新記録、2000名の来場者



本間市長、中村さん、吉田社長(左から)のスリーショット



ホームにあふれる乗客にイバライガーも驚いていました

4月28日の開業5周年記念祭は好天にも恵まれ、海浜鉄道のイベントとしては過去最高の約2000名の来場者を記録しました。那珂湊駅での開会式にはサプライズゲストで俳優の中村雅俊さんも登場し、記念祭を盛り上げてくれました。また、沿線の各駅や商店街でもさまざまな催しが同時開催されました。

4月27日から3日間、那珂湊駅ホームに留置されたキハ222車内で開催された写真展「イチオシ! 私が応援する鉄道路線」も盛況でした。プロ・アマの写真家23名が16路線をイチオシ。のべ148点の作品が展示されました。また、来場の皆様にはポストカードやポスターの売り上げにもご協力をいただき、ありがとうございました。



あつ! このデンジャ乗ったことがある!



写真展会場のキハ222の前で写真家の皆さん

応援団・D.E.F主催写真展 987名の入場ありがとうございました

100万人のキャンドルナイト in阿字ヶ浦

6月1日(土) NPO法人未来ネットワークひたちなか・主催。午後5時から那珂湊駅北の「百華蔵」でキャンドル作りとトランペット演奏を楽しんだ後、湊線で阿字ヶ浦へ移動、海岸でキャンドルナイトと浜辺のコンサートをおこないます。参加費は100円、別途乗車運賃が必要です。詳しくは276-0101まで。



■三反田支部の皆さんと... 5月5日、いつも中根駅周辺の環境整備に尽力をいただいている応援団三反田支部の皆さんと応援団の「五月晴れを愛でる会」が、中根一金上間の通称・石切場踏切近くの山桜の下で、和やかに懇親をおこないました。

沿線や各駅の 清掃・環境整備 ありがとうございます

■ハマギク花壇が見違えるように... 5月11日朝、那珂湊駅西側線路沿いのハマギク花壇の除草作業と環境整備には、周辺の5自治会から約90名の皆様の参加をいただきました。花壇周辺は皆様のご協力で見違えるようになりました。ありがとうございました。

駅名	6月2日(日)	7月7日(日)
中根	柳が丘・柳沢美田多・相金・三反田班	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	田中町・小川 龍之口町 関戸町
殿山	和田町・殿山町	七町目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

各駅清掃は第1日曜日、朝8:30~8:50。中根駅は朝7:30~実施します。

応援団ホームページ 「湊線どっと混む」を開設 minatosen.com

応援団ではこのほど、ホームページを開設しました。応援団報のバックナンバーや乗車特典が利用できるお店などが見やすくなっています。フェイスブックやツイッターとともに楽しくみください。アドレスは湊線がどっと混むことを願って <http://minatosen.com/>です。

湊線沿線の「いま」がわかる! 海浜鉄道ホームページ・応援団フェイスブックページをご覧ください

- 【海浜鉄道関係】
 - ◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
 - 【応援団関係】
 - ◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
 - ◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
 - ◇おさむツイッター http://twitter.com/minato_osamu
- ※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鉄道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

ローカル線のある町は 地域の魅力もいっぱいです

那珂湊漁業協同組合 女性部 根本 経子さん

ローカル線は町を活性化、アピールする大きな力になる可能性を秘めていると日々考えておりました。湊線も廃線の危機がありましたが、沿線住民の皆様や全国の鉄道ファンの皆様、行政の方々のご尽力によりひたちなか海浜鉄道として存続でき喜んでおりました。しかし、個人として漁業者として思いはあっても何のお手伝いもできず時が過ぎていきました。そんな時、JAひたちなか女性部の方々による那珂湊駅での朝市を知りました。

那珂湊といえば“水運の町”“水産、漁業の街”。大型廻船が入港できる茨城でも屈指の漁港が目の前です。底引き船を中心にカツオ、サンマ船、シラス、一本釣り、建網船などなど一年中、多種多様なピチピチの魚が水揚げされます。その地域色を出すなら、朝市に魚が必要だろう、漁業者として湊線をサポートできるのはこれだ!と勝手に思いましたが、イベント参加や毎週土曜(午後1時~)の漁協の直売などで時は過ぎてしまいました。

昨年末、商工会議所や湊線のスタッフの方と同席する機会を得、本年1月から漁協女性部の朝市参加が実現しました。定番のサンマの開きなどを中心に水揚げされた新鮮な魚の天日干しの干物、加工品、海藻など那珂湊ならではのものを並べています。

“港のある町、漁業のある町に住んで良かった”と町の皆様に喜んでいただけるように新鮮でお手頃な値段、無添加で調理しやすい地魚をお届けしたいと思っています。皆さんのご意見もお待ちしております。

早くから朝市を始め、コツコツ続けてこられたJA女性部の皆さんや鉄道の方々のおかげで、このような機会を得ることができました。大変感謝しています。どうかこれからもよろしく願います。

6月2日(日)は 野菜と干物の直売会

那珂湊漁協女性部と、JAひたちなか女性部による次回の直売会は、6月2日(日)、那珂湊駅ホームで午前9時から11時40分頃まで開催されます。この直売会に限りホームへの入場は無料です。



那珂湊漁協女性部のみなさん

夏バージョンの硬券フリー切符と応援券を販売します

6月1日から8月31日まで、夏バージョンの「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の販売を那珂湊駅窓口で販売します。夏のフリー切符は大判の「C型硬券」。販売価格は応援券200円とフリー切符800円のセットで合計1,000円です。フリー切符は発行日より1年以内の利用が可能で、この切符に限り平日でも利用できます。

四季毎に発行される応援券4種類を揃えて、那珂湊駅窓口に呈示された方には記念品を差し上げています。記念品の受け取りは応援券の最終購入日から1年以内です。応援券の収益は応援団の活動費に充てられています。



湊線乗車でおトクを実感! ご利用ください! 「乗車特典サービス」

★乗車特典サービスは、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する「乗車証明書」(当日限り有効)を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられるサービスです。現在沿線50店(施設)以上が参加し、お買物や宿泊で優待があります。

★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。

★参加店名簿は、那珂湊駅待合室に常備してあります。また、海浜鉄道HPと応援団facebookでも随時更新しています。ぜひご利用ください。

